



▲春季総合体育大会に向けて気を引き締める剣道部員のみなさん

剣道部は武道場で週5日、3年生男子1人・女子2人と2年生男子6人・女子6人と1年生男子5人・女子2人の計22人で練習をしている。

部長の青木萌子さん(3-1)は普段の部の雰囲気「練習前は和気あいあいとしているが、練習が始まるとアドバイスし合いながら自分に厳しく練習していてメリハリが付けられている」と話した。キャプテンの巖本憲熙(3-4)さんは「練習で心の中につらさが出てくるときに、踏ん張るのが一番大変だ」と述べた。また青木さんは「昨日の自分より強くをモットーに練習に取り組んでいる」と笑

今回の運動部キマグレはインターハイ・近畿大会出場を目指す剣道部に取材した。剣道部は6月1日・2日の春季総合体育大会に向けて日々練習に励んでいる。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号



▲部を盛り上げている高田君(左)と古橋君

高田泰成君(2-3)と古橋知大君(2-5)は練習中、声を出して雰囲気盛り上げながら剣道部を支えている。古橋君は「勉強のために日々の練習の時間が短くなってしまいが、短時間の練習でも活気のある練習にしていけるよう雰囲気盛り上げたい」と心がけていることを話した。また高田君は「3年生はもうすぐ引退されるので自分たちが引っ張っていくという気持ちで頑張りたい」と意気込みを見せた。

顔を見せた。今後の目標について巖本君は「目標はインターハイ。目の前の一戦一戦を戦っ



▲インターハイ出場への意欲を見せる巖本君(左)と青木さん

ていきたい」と意気込んだ。顧問の山田正幸先生は「春季総体に合わせられるような練習内容は自主的に考えさせて試合形式にしたり、自分の弱点を補強したりする練習をさせている」と練習の指導で意識していることを話された。最後に「百日の稽古・一万日の練習で鍛錬と言うのが勝負は一瞬である。その一瞬のためにどれだけたくさんの練習を積めるか。練習を嫌がらず、一瞬の勝負に緊張せず今までしてきたように頑張っしてほしい」と選手たちにエールを送られた。